

令和4年度 第1回豊明市障害福祉計画等策定・推進委員会 議事要旨

令和5年3月14日（火）

午前10時00分～午前11時30分

豊明市総合福祉会館3階大会議室

1 あいさつ

委員長よりあいさつ

2 議事

1 第3次豊明市障害者福祉計画（改訂版）の進捗状況について（資料1）
事務局より資料1に基づき説明する。

2 第6期豊明市障害福祉計画の進捗状況について（資料2）
事務局より資料2に基づき説明する。

3 第2期豊明市障害児福祉計画の進捗状況について（資料3）
事務局より資料3に基づき説明する。

4 第4次豊明市障害者福祉計画、第7期豊明市障害福祉計画及び第3期豊
明市障害児福祉計画の策定について（資料4）

事務局より資料4に基づき説明する。

全員賛成にて可決。

《質疑応答》

【委員】

自立支援協議会や各部会はどのように運営されていますか。以前は事業所への周知もされ、事業所としても参加しやすく当事者意識をもって障害者福祉の増進に向かっていた。最近では、コロナ禍もあり、自立支援協議会がいつ行われ、どのような部会が行われているのか事業所が把握できていない。

【事務局】

今年度の自立支援協議会については、令和5年2月に開催し、来年度の取り組みについて決定した。事業所の増加と人材不足の中、ここ2年で部会を見直し、来年度はこどもに向けたこども部会と親亡き後等を考えていくおとな部会を運営していくこととなった。事業所については、事業者連絡会を活用していく。自立支援協議会については、福祉サービス事業者だけでなく、いろいろな委員の力をもらい広く展開していきたい。

【委員】

成年後見制度と市民への制度の周知はどのような形で行われているか。

【事務局】

成年後見制度については、個別相談に加えて、成年後見制度の福祉講座を催し周知を図っている。他、生活困窮窓口のはばたきやひきこもり相談窓口のよりそいを通じて案内することもある。

【委員】

- ① 相談支援において、外国籍の方からの相談が増えている。障害福祉サービス利用の際、専門用語もあり言葉の壁に苦慮している。今後の方向性が決まっていたら教えていただきたい。
- ② 地域活動支援センターが市内にない。設置について計画の中にもない。どのような考えか。

【事務局】

- ① 現状、外国籍の方が増えている。ポルトガル語、ベトナム語への対応は障害の分野に関しても必要と考えている。障害福祉計画等において今後、課題として検討していく。
- ② 地域活動支援センターについては元々不足している状況である。今年度から実施している重層的支援体制整備事業中にも地域活動支援センターの活用について謳われており、障害者の方を含めた多様な方々の支援のための整備を検討していく。

【委員】

障害者の一般就労への移行で、目標人数が少ないのではないか。目標値の設定の根拠はどこにあるのか。

【事務局】

県から提供されるデータを参考に設定させていただいている。就労継続支援B型から一般就労への移行が難しい状況である。今後、就労移行支援事業を含めて検討する必要がある。

《出席者等》

出席委員	12名
事務局	豊明市障がい者基幹相談支援センターフィットセンター長 健康福祉部長 地域福祉課（課長、担当係長） 子育て支援課（課長、担当係長）
傍聴	なし

以上